

1/14 水 鶴城中女子ハンドボール部が大賞
指導者賞に高濱先生



熊日スポーツ賞受賞を祝う報告会

鶴城中学校で「第56回熊日スポーツ賞」の大賞・奨励賞・指導者賞の受賞を祝う報告会が開かれました。熊日スポーツ賞は、国内外の大会で優れた成績を取めた選手や、競技の普及・育成に尽力した指導者をたたえる賞です。大賞には、全国中学生ハンドボール大会で春夏の全国制覇を果たし、全国2冠を達成した鶴城中学校女子ハンドボール部が選ばれました。また、熊本県選抜として出場した全国大会での優勝も評価され、奨励賞も受賞。さらに、約30年にわたり相撲競技の普及と選手育成に力を注いだ同校教員の高濱壽夫先生が指導者賞を受賞しました。

報告会では、全国大会での戦いぶりや日頃の練習の積み重ねが紹介され、生徒や教職員から大きな拍手が送られました。



児童の前でスイングを披露する島田選手

1/9 金 阪神の島田海吏外野手が特別講演
「フルスイングを貫きたい」

プロ野球・阪神タイガースの島田海吏外野手(29)が母校の宇土東小学校で特別講演をしました。2008年3月に同小を卒業し、2017年にドラフト4位で阪神に入団。スピード感あふれるプレーが人気です。全校児童や保護者ら約300人を前に「勉強やスポーツなど何でもバランスよく一番を目指して頑張ることが大事」と述べ、今年の抱負を「原点を見つめ直してフルスイングを貫きたい」と熱く語りかけると、参加者は熱心に聞き入っていました。同小とPTAは2026年度の創立40周年に向け、児童を中心に地域を盛り上げようと、さまざまな学校行事などを企画する「39スクール」プロジェクトを展開しています。島田選手の特別講演もそのプロジェクトの一つです。



三共コンサルタント株式会社松尾喜久男代表取締役(左)

12/19 金 企業版ふるさと納税として
寄付をいただきました

三共コンサルタント株式会社様から、宇土市の地方創生の取り組みに対して寄付をいただきました。市が進めている多目的市民交流施設整備事業に活用します。同事業は子育て・シニア世代や学生、スポーツ施設利用者ら幅広い年齢層や、さまざまな目的を持つ市民が集い、交流できる多機能施設などを整備するものです。



宇土小の児童に本を手渡す川口裕二代表取締役

1/16 金 株式会社川口登建設から宇土小へ
図書を送りました

株式会社川口登建設が宇土小学校へ絵本や児童書、小説などを寄贈しました。同社は「子どもの学びを応援したい」との思いから、毎年市内の小学校1校に本を贈っており、今回で6回目です。寄贈された本は図書室や教室で活用され、児童の読書活動の充実に役立てられます。児童代表が感謝を伝えると、川口裕二代表取締役は「本を通じて多様な世界に触れ、豊かな感性を育てほしい。今後も地域の子どもたちを応援したい」と話しました。



株式会社シビルデザインワークス水本健治代表取締役(左)

1/15 木 企業版ふるさと納税として
寄付をいただきました

株式会社シビルデザインワークス様から、宇土市の地方創生の取り組みに対して寄付をいただきました。市が進めている多目的市民交流施設整備事業に活用します。同事業は子育て・シニア世代や学生、スポーツ施設利用者ら幅広い年齢層や、さまざまな目的を持つ市民が集い、交流できる多機能施設などを整備するものです。



入選(2位相当)を受賞した
広報うと



佳作(3位相当)を受賞した
写真

1/8 金 熊本県広報コンクールで
広報うとが
入選を受賞しました

第69回熊本県コンクールで、広報紙(市部)部門で入選、さらに広報写真(1枚写真)部門でも佳作に選ばれました。今回の受賞は、日頃から紙面づくりに協力して下さる市民の皆さんの活動や思いを丁寧に取材し、その魅力を伝え続けてきた取り組みが評価されたものだと感じています。

広報うとは、市民一人ひとりの姿を主役として取り上げ、地域の元気や温かさを紙面に映し出すことを大切にしてきました。今回の受賞を励みに、これからも「宇土市の元気と情報を届ける広報紙」として、より多くの人に親しまれ、地域のつながりを深める紙面づくりに努めてまいります。

Follow Me

まちの情報、SNSでも発信しています。最新の情報をチェック!





【第13期】 菌ちゃん元気やさしい作り講習会

生ごみ(野菜くず)をリサイクルして、菌ちゃんたっぷりの元気な土を作ります。その土で育てた野菜は、無農薬でも虫がつきにくくなります。そんな元気な野菜を、自分で育ててみませんか？

- ▶ **講座日程** 1回目 3月8日(日)
2回目 3月15日(日)
3回目 3月22日(日)
4回目 4月5日(日)
5回目以降は、月に2回開催
 - ▶ **場所** 神馬町の畑
 - ▶ **時間** 午前8時～(4回目からは午前7時30分～)
 - ▶ **参加費** 年会費2,000円(材料代、収穫した野菜含む)
※新規入会者は別途資料代500円
 - ▶ **講師** 内田英雄さん(菌ちゃんやさしい作りアドバイザー)
※八代市在住。吉田俊道さんのお弟子さん
- ☎池田久美 ☎090(7293)0115

コリアンフェスティバル (Korean Festival)

K-POP、K-FOOD(家庭料理)、K-GAME、K-CULTURE体験など一緒に楽しめます。特に、小中高生の皆さんを歓迎いたします。

- ▶ **日時** 2月21日(日) 午前11時～午後1時30分
 - ▶ **場所** 日本バプテスト連盟 熊本南キリスト教会会堂
(新小路町101-1 市民会館前)
 - ▶ **定員** 20人程度
 - ▶ **参加費** 無料
 - ▶ **申込方法** メールまたは電話で申し込み
- ☎熊本南キリスト教会×韓国共に夢見る教会 共催
☎(22)1695 📧ch_7520@yahoo.co.jp

九州のどまんなか！ 第3回 ご当地キャラ in うと【冬の陣】

「うとん行長しゃん」がホストとなり、全国からお友だちキャラクターが宇土に大集合！全国から46キャラが参加予定で、会場では各キャラのPRタイムやキャラクター運動会、アメ投げなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催します。会場内ではキャラクターとの写真撮影やふれあいも楽しめ、イベントを通して宇土市の魅力を全国へ発信します。



- ▶ **日時** 2月21日(日)・22日(日)
午前10時～午後4時(両日とも)
 - ▶ **場所** 宇土シティモール 駐車場内 特設会場
- ※イベント内容は、天候などにより変更になる場合があります。
 ☎ご当地キャラ in うと実行委員会 ☎096(355)3381

50キロウォーク・ 手作り作家出展者 募集

- ① **宇土半島一周50キロ・1泊2日歩く旅**
 - ▶ **日時** 3月14日(日)
午前8時30分(受付8時)～15日(月)午後4時30分頃
 - ▶ **集合場所**
(初日)網津支所→網引→松合カフェ→三角駅27km
(2日目)三角駅→西港→網田駅→長部田海床路→網津支所23km
 - ▶ **参加費** 9,000円(当日キャンセル不可)
(1泊3食、風呂、カフェ、お土産、温泉入浴券、保険)
 - ▶ **募集人数** 7人(グループ参加可。定員になり次第締切)
 - ▶ **宿泊** ゲストハウス「サイハテ」※ユースホステル同等
 - ▶ **申込み** 2月28日(日)まで
 - ② **手作り作家交流会**
「第5回オリジナル in うと」出展者募集
 - ▶ **日時** 4月4日(日) 午前11時～午後3時
4月5日(日) 午前10時～午後4時
 - ▶ **場所** 宇土市民会館2階(大会議室、第1・2会議室)
 - ▶ **定員** 手づくり作家15人(陶芸、工芸、手芸、木工、金属加工、絵画、書道、等)
 - ▶ **出展条件販売者** 2日 5,000円・1日 3,000円
展示のみ可
 - ▶ **申込** 3月15日(日)まで
- ☎090(3666)7682(野口修一)※ショートメール可
 📧noguchi.shuichi.uto.kumamoto@gmail.com



東海大学の学生による授業を熱心に聞く網田小児童



アイスクリームの商品作りやマーケティングの視点、接客・販売の工夫について授業する東海大学の学生ら

1/16 金

網田小・中学校で金融・ マーケティング教育/ 大学生らが実践型の 特別授業

網田小・中学校で肥後銀行と東海大学の協力による「リアルな経済」を体験する特別授業がありました。両校は実践型の金融・マーケティング教育という特色ある学習に力を入れていて、東海大学の学生と肥後銀行の銀行員が講師役を務めました。東海大生がアイスクリームの商品作り、マーケティングの視点、接客・販売の工夫などを分かりやすく伝えると、児童たちは熱心に耳を傾けていました。また、肥後銀行金融資産コンサルティング部の行員が網田中1年生に授業を行い、子どもたちは「リスクマネジメント」のテーマで日常生活に潜むさまざまなリスクを例に、リスクを事前に知ることの大切さのほか、損失を回避・最小化する考え方など、将来にわたって役立つお金と暮らしの基礎知識を学びました。

ちいきのわだい



松原地区の民家でモグラ打ちをする子どもたち



収穫した網田ネーブルを仕分けする生徒たち



放課後子ども教室で茶道を体験する児童

1/10 土

家内安全や五穀豊穡を祈り 松原区でモグラ打ち

松原町の松原区で、子どもたちによるモグラ打ちがあり、子ども15人とその保護者地区の役員で松原区の民家約40件を訪問。家内安全や五穀豊穡を祈る伝統行事で、子どもたちははやし唄を歌いながら打ち具と呼ばれる竹の先に藁を巻き付けた道具で民家の軒先や庭をたたいて回りました。

12/16 金

網田中1年が 網田ネーブルを収穫

網田中学校の1年生11人が網田ネーブルの収穫を体験しました。当日は、ネーブル農家の鎌守さんからヘタの切り方や大きさや規格外など、ネーブルの仕分け方について学びました。今回収穫したネーブルの一部を網田中が実施しているアイスクリーム作りの試食用として使用します。その後、2年生で本格的にアイスクリームを作り、次年度3年生で販売する予定です。

12/3 水

網田小児童が茶道を体験

網田小学校で実施されている宇土市放課後子ども教室の一環として、児童24人が日本の伝統文化である茶道を体験しました。地域ボランティアの宮本明子さん、稲崎和代さんが指導。宮本さん宅の茶室、茶道具を借りて本格的な落ち着いた環境のもと、茶道の所作などを学び、貴重な時間を過ごしました。